



(一財)松本ものづくり産業支援センター

NEWS

第15号

令和7年12月発行



「人と組織を変えるコミュニケーション講座」

(R7.8.19、20、29) 関連記事 7P



JR松本駅東西自由通路ギター展示

(11～12月は株式会社ディバイザー)



Startup
Weekend 松本

(R7.7.6) 関連記事 14P



アトツギの学校

(R7.9.18) 関連記事 8P

ものづくり産業支援のワンストップサービスを目指します

1	特集 DX・デジタル化の推進に向けた取り組み……	3～6P
①	課題解決の為に自動化基幹技術を生み出す経営とは？ 企業視察バスツアー in 富山 開催報告 (ものづくり支援担当：杉本 守アドバイザー)	
②	中小企業が生成 AI を活用するにあたり、 期待効果と機密情報を守る対策例 (ICT支援担当：野尻 和彦コーディネーター、 宮島 正孝コーディネーター)	
2	活動ピックアップ……	7～11P
	・人材育成支援事業 中小企業大学校サテライトゼミ 「人と組織を変えるコミュニケーション講座」開催 (2025年8月19,20,29日) (ものづくり支援担当：豊口 稔コーディネーター)	
	・5S導入セミナー開催 (2025年7月16日)	
	・5S出前講座「新企画」開催 (2025年10月8,22,28日)	
	・5S活動モデル企業視察会開催 (2025年11月13日) (ものづくり支援担当：広橋 修コーディネーター)	
	・地域企業への個社支援の深化（現場と経営を繋ぐ伴走支援の強化） ～生産性向上・改善力向上に関する支援～ 3社の事例を紹介 (2025年) (ものづくり支援担当：相吉 一浩コーディネーター)	
	・2026年7月障害者法定雇用率引き上げに伴う対応について (2025年) (ものづくり支援担当：岡村 環 雇用環境整備士)	
3	アドバイザー・コーディネーターの紹介……	12P
4	サザンガクからのお知らせ……	13～15P
5	松本市からのお知らせ……	16P
6	松本商工会議所からのお知らせ ……	17P
7	松本ものづくり産業支援センターからのお知らせ ……	18P

デジタルトランスフォーメーションとは？

「デジタルトランスフォーメーション (digital transformation)」という言葉は、2004 年にスウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン教授が論文 "Information Technology and the Good Life." の中で提唱したデジタル技術を使って人々の生活をより良いものへ変革することができるという概念です。

デジタルトランスフォーメーションは IT 化と混合されやすいですが、IT 化とはデジタル技術を用いて作業や業務の効率化を行うことであり、デジタルトランスフォーメーションは、「企業がデジタル技術を活用してビジネスや企業そのものを変革する」という意味を持ちます。

つまり、IT 化は DX の一部であり、DX の実現に向けて取り組むべきプロセスの一つと言えます。

1 特集 DX・デジタル化の推進に向けた取り組み

課題解決の為に自動化基幹技術を生み出す経営とは？ 企業視察バスツアー in 富山 開催報告

◆開催概要

- ・日 時：2025 年 11 月 18 日（火） 6：45 集合～ 18：30 帰着
- ・参加人数：17 名
- ・参加対象：長野県内 中小製造業の経営者・管理者・技術者

◆スケジュール

- ・ 7:00～10:30 < 出発バス移動 >
- ・ 10:30～12:00 (株)スギノマシン 本社工場・早月事業所 見学・講演・意見交換
- ・ 12:15～12:45 昼食
- ・ 13:30～15:00 (株)不二越 富山事業所 ロボット事業部 見学・講演・意見交換
- ・ 15:00～18:30 < 帰路バス移動 >

中信地域自動化推進ネットワークと松本地域産学官連絡会が主催となり 11 月 18 日（火）に企業視察バスツアーを開催しました。

午前中に（株）スギノマシン様、午後に（株）不二越様を訪問いたしました。



(株)スギノマシン様 杉野社長ご講演



(株)不二越ロボット事業部様

株スギノマシン プラント機器事業本部

最初に杉野社長より受け入れのご挨拶と経営に関するご講演がありました。

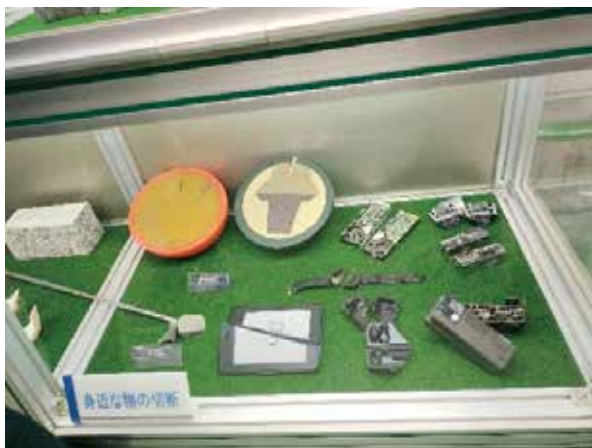
次に会社案内後、展示室にてウォータージェット技術を中心に各種製品の紹介を受けました。下記はその一部の紹介です。



ウォータージェットで岩を穿つ



コンクリート構造物の劣化部分のみのはつり
鉄骨や鉄筋にダメージを与えない



ウォータージェットによる身近な物の切断例
熱がかからず切れる



原料同士をマッハ4の相対速度で衝突させる超微粒化技術

最後にスギノマシンの技術センターにあるランドマークタワーに登りました。高さは約60メートルで、およそ20階建てのビルに相当します。このタワーは、主に原子力発電所用の保守・点検装置の組み立て・テストに使用される試験タワー棟として機能しているそうです。

株スギノマシンの強み：6つの「超技術」とグローバルニッチリーダー経営

株スギノマシンは89年連続黒字経営を達成している、富山のグローバル企業です。その独自の強みと経営のポイントは、6つの超技術（「切る」「削る」「洗う」「磨く」「砕く」「解す」）と「グローバルニッチリーダー」経営にあります。

富山（ローカル）で開発・製造し、世界（グローバル）の市場で戦う。ニッチな市場に特化し、トップを取っていくというグローバルニッチリーダー経営の特徴は、世界中に点在する市場の多様な顧客5,000社以上と取引しており、あえて選択と集中をしていないことにあります。効率的でない部分もありますが、顧客との関係性は強固なものとなり、顧客にとって本当に必要なものを提供しています。

同社は、商品開発に対して「世の中の1.5歩先を行く技術、ニーズの0.5歩先を行く商品」を念頭に、6つの「超技術」を維持・発展させています。

この超技術を生み出す背景には、創業者の「自ら考え、自ら造り、自ら販売・サービスする」という考えが根底にあります。同社はこの考え方を指針に、グローバルニッチリーダーとしての実績を築いてきました。超技術の例として、ウォータージェット技術を応用し、粉体を含んだ液体同士を高速でぶつけ合い粉体を更

に微粒子化する超微粒子化技術に発展させた「砕く」技術は、医薬・化粧品や電子部品業界に活用されています。

㈱不二越 ロボット事業部

続いて午後には（株）不二越（NACHI）のロボット事業部を訪問しました。

当日は国際ロボット展出展の為ロボット展示は無く、新製品協働ロボットのご講演とショールームに移動し、不二越様の基本技術をご紹介いただきました。一例としてバリの発生メカニズムを徹底的に解析し、バリ（陣笠残り）がゼロとなる先端形状を有したバリレスドリルを商品化されています。また、直径10cm程度の雌ネジ加工の為の切削工具が2m程度と長い特殊形状の研削機構で行うなど、初めて拝見する加工技術でした。

そして、ロボット工場では、ロボットがロボットを組み立てるロボット自動化製造・検査ラインも見学させていただきました。

㈱不二越の強み：基幹部品の内製化と総合力

ロボットの性能を左右する主要な部品（ベアリング、油圧機器、モーター、切削工具）を自社グループ内で開発・生産できる体制が強みです。

品質管理：コアコンポーネントを自社で製造することで、高い品質管理と、ロボットの設計に合わせた最適化が可能になります。

総合ソリューション：ロボット単体だけでなく、周辺機器である油圧・空圧機器や切削工具、専用機などと組み合わせた製造ライン全体のソリューションとして提供できるのは、総合メーカーならではの強みです。

今回の視察会の感想

時間がタイト過ぎ、じっくり質問することが出来なかったことが主催者としては反省点です。

しかし、両社ともに技術を徹底的に極めている姿は十分に感じ取れました。

また、今回の2社ともにホームページ等の事前調査では出てこなかった強みを実感できたことは大変大きな収穫でした。

この視察会を切掛けに今後も良き連携が出来ましたら幸いです。

ものづくり支援担当：杉本 守 アドバイザー

中小企業が生成 AI を活用するにあたり、期待効果と機密情報を守る対策例

1. リソースが限られた中小企業が生成 AI を活用すべき 3 つの理由

① 圧倒的な業務効率化とコスト削減

- ・事務作業の自動化：バックオフィス業務の時間を削減し、社員は売上を作る活動に集中可能
- ・コスト対効果：新たな人員雇用に比べ、コストが低い AI は極めて高い ROI（投資対効果）を実現

② 人手不足の解消と「社員の能力底上げ」

- ・スキル格差の是正：AI がベテランのノウハウを代替・補完することで、経験の浅い社員でも高い品質の業務が可能になり、人材不足や技術継承の課題を解決可能
- ・教育コストの削減：AI に社内規定やマニュアルを学習させれば、社内コンシェルジュとして機能し、管理職の質問対応時間を削減可能

③ 新たな付加価値と競争力の創出

- ・企画・マーケティング：AI を活用することで、ネーミングやキャッチコピーなどのアイデア出しを無限に行えるため、一人で考える行き詰まりを解消
- ・顧客対応の質向上：AI が問い合わせ内容を分析し、迅速かつ的確な返信案を作成することで、顧客満足度の向上が可能

2. 機密情報を守る「セキュアな生成 AI 環境」の構築

「便利そうだが、顧客情報や自社のノウハウが外部に漏れるのは怖い」これは利用者の当然の懸念です。無料版の ChatGPT などは、入力したデータが AI の学習に使われるリスクがあります。

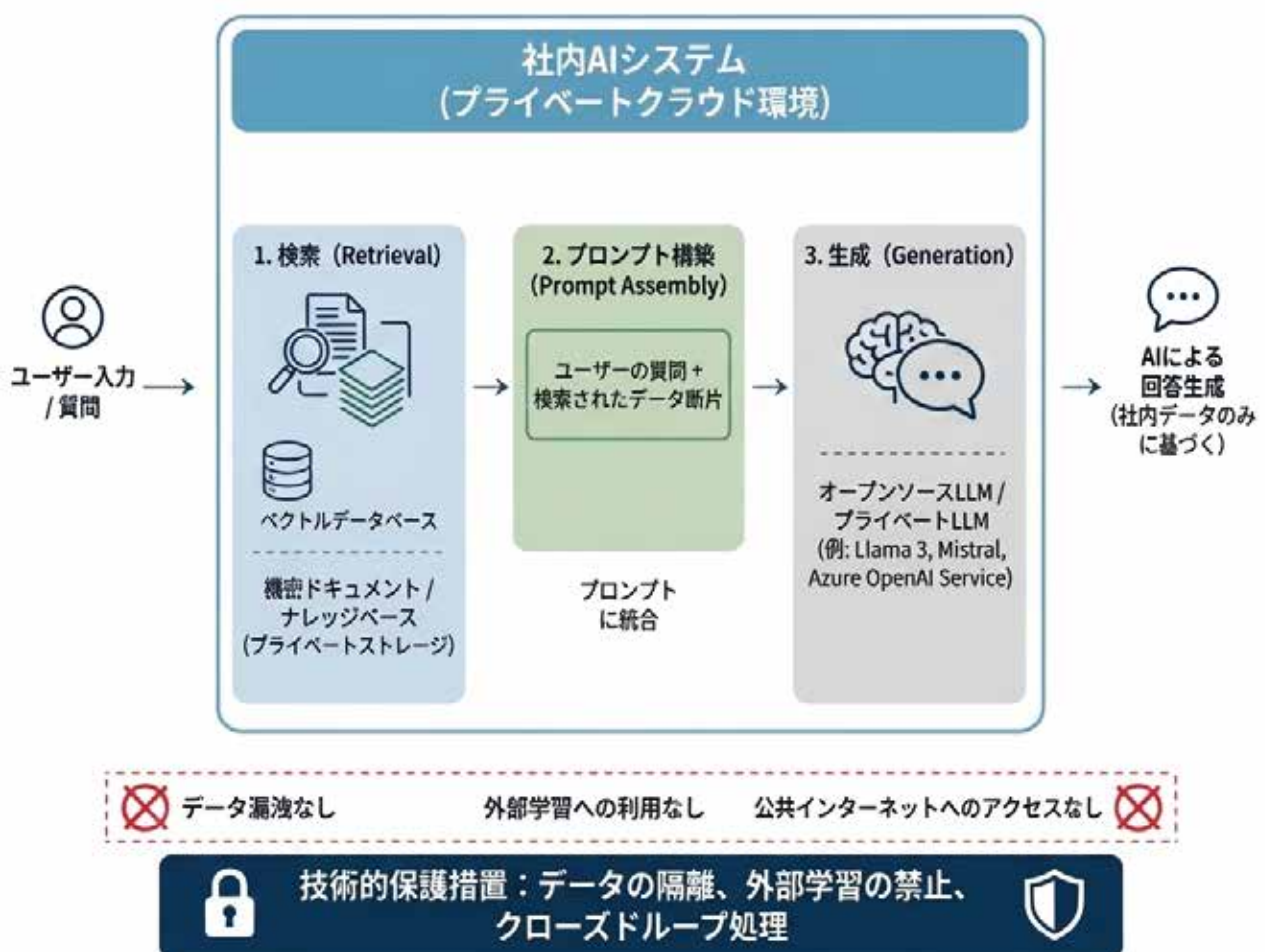
こうしたリスク回避のための「RAG : Retrieval Augmented Generation 検索拡張生成」という技術を活用した、閉域網（プライベートクラウド環境）での AI 活用システムを紹介します。

これは「社内専用 AI ベクトルデータベース」を参照しながら、外部に情報を漏らさずに回答してくれる仕組みです。

この仕組みの 3 つの特徴

- ① データが学習されない（機密保持）：Azure OpenAI Service や Amazon Bedrock などのエンタープライズ版 AI を利用すれば、入力データや社内ドキュメントが AI 学習に利用されない契約となるため、情報漏洩リスクを遮断できます。
- ② 社内データの活用（RAG 技術）：バラバラに保存されている社内文書を安全な場所に整理・集約し、AI がこれを検索・参照できるようにします。これにより、社員が質問した際、AI はインターネットではなく社内マニュアルに基づいて回答を作成するため、正確な情報提供が可能になり、ハルシネーション（AI が嘘をつくこと）のリスクも低減されます。
- ③ 権限管理とアクセス制御：「経営層しか見られない財務データ」や「人事評価データ」は、一般社員の AI 検索にはヒットしないように、閲覧権限を設定することが可能です。

以下に RAG を活用した「セキュアな生成 AI 環境」の機能概要図を示します。



ICT支援担当：野尻 和彦 コーディネーター

宮島 正孝 コーディネーター

2 活動トピックス

人材育成支援事業

中小企業大学校サテライトゼミ「人と組織を変えるコミュニケーション講座」開催
2025年8月19,20,29日@松本市中央公民館（M ウィング）



中小企業大学校三条校主催、松本商工会議所、松本地域産学官連絡会共催によるサテライトゼミを開催いたしました。講師は、中小企業診断士である岡田 望（おかだ のぞみ）さん〔株ファンタビート 代表取締役〕

1日目は「管理者に求められるコミュニケーション活性化の考え方」について学びました。

社内コミュニケーション活性化が顧客との良好な関係を構築し、企

業の魅力向上、社員のやる気、社員の定着につながる良好な循環となる。そのためのリーダーとしての役割と責任、これからの時代のコミュニケーションの在り方や自分らしいコミュニケーションスタイルを再確認しました。

2日目は「やる気を引き出すコミュニケーションの実際」について演習を中心に学びました。社内、顧客との関係などさまざまな活動の場面でのコミュニケーションを活性化させ、相互の正しい理解と評価により社員のやる気が創出されます。ここでは、それぞれの場面で、どのようなコミュニケーションを図るべきか。コミュニケーションスキルの強化（傾聴力、質問力、伝える力など）、部下を育てる効果的なコミュニケーションの極意、「報・連・相」による“場”づくり、発言を引き出し会議を活性化するしくみなどを学びました。

3日目は「コミュニケーション力強化プランづくり」これまで学んだことを踏まえて、具体的な行動につなげる自らの行動計画（目標）を作成しました。また、コミュニケーションの範囲をチームから組織に一段階高め、組織活性化を通じた生産性向上の取り組みへつなげるための課題を整理しました。

3日間に及ぶ研修でしたが、流暢で話題豊富な岡田講師の進行により、時間を感じないほどの内容でした。また受講された参加者は、全員がものづくり現場の方々と、お互いの課題にも共通点が多く熱心な議論の場となりました。「忙しい時ほど自分の本当の姿が現れる」が印象的でした。

コースNo. 80

サテライトゼミ

サテライトゼミとは、市内各地にある産学官連携センターや、中小企業大学校で実施している研修を指します。

誰にも聞けない

松本開催

プロ営業としての心得

～営業の基本から実践ノウハウまで学ぶ～

中小企業大学校研修
サテライト・ゼミ with
松本商工会議所
松本ものづくり産業支援センター
松本地域産学官連絡会

営業・マーケティング

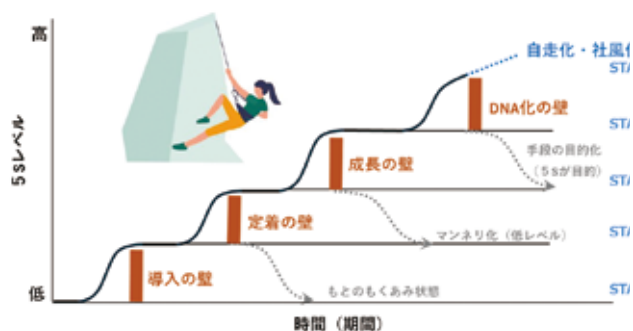
次回サテライトゼミ「誰にも聞けないプロ営業としての心得」2026年3月5、6日@M ウィング・企業における営業活動の重要性 ・プロフェッショナルな営業パーソンとしての基本的な知識やノウハウ ・自社のこれからの営業活動方針や計画案を持ち帰ることによって、自社の実際の営業力強化について学び合います。奮ってのご参加をお待ちしております。

ものづくり支援担当：豊口 稔 コーディネーター

5S導入セミナー開催（2025年7月16日）

7月16日（水）に松本地域産学官連絡会および松本ものづくり産業支援センター主催の5S導入セミナーを開催しました。コロナ後、昨年に続き2回目の開催です。

講師に宮下和典氏を迎え、「5Sの導入と定着のポイント」というテーマで開催しました。会場は松本ものづくり産業支援センターで聴講者13名の参加でした。活発な質疑応答が行われ、盛況に終わりました。



ものづくり支援担当：広橋 修 コーディネーター

5S出前講座開催（2025年10月） 新企画

10月8日（水）、10月22日（水）、10月28日（火）の3日間、松本ものづくり産業支援センター主催の5S出前講座を開催しました。5S出前講座は本年度よりの新企画です。

出前講座初回は、(株)宮本工業所（松本市／銘板及び塗装業）です。講師は宮下和典氏で最終日には、工場視察報告と改善提案を行いました。本年度もう1社実施予定です。



ものづくり支援担当：広橋 修 コーディネーター

5S活動モデル企業視察会開催（2025年11月13日）

11月13日（木）に松本地域産学官連絡会および松本ものづくり産業支援センター主催の5S活動モデル企業視察会を開催しました。コロナ後、昨年に続き2回目の開催です。

（株）シュタール（諏訪市／特殊鋼材及び非鉄金属流通加工業）で開催され、聴講者16名の参加でした。平井勝則氏の5Sレクチャー、（株）シュタールの5S活動紹介が行われ、その後の工場視察では、1グループ4人の少人数構成で実施したため、現場での活発な質疑応答ができ、非常に好評でした。



ものづくり支援担当：広橋 修 コーディネーター

地域企業への個社支援の深化（現場と経営を繋ぐ伴走支援の強化） ～生産性向上・改善力向上に関する支援～

この活動は、地域の生産力と競争力を支える「改善の土台づくり」に直結するもので、継続支援を実施してきた事により、特に以下3社で大きな前進が見られました。

a) D社

全社横断の「管理監督者研修」を開始。

営業・技術・品質・生産・総務の班長以上が参加し、自職場の課題を持ち寄る“自走型課題解決”の研修を実施。

職層を超えた議論と合意形成が始まり、全社的な改善文化の醸成が加速。



b) C社

リーダー層の主体性向上に向けた改善研修の再設計を支援。

従来の「やらされ研修」から脱却し、現場自らがテーマを設定し動く改善体制へ転換を図る準備が進行中。

c) N社

9月より工程改善セミナー（全6回）を実施。

標準作業・標準時間の必要性が理解され、複数部署で自主的な手順見直しがスタート。

“理解して使う”改善スキルの定着が進むなど、確かな変化が見られる。



またこれらの支援を通じ、リーダー育成と職場風土改善に関する支援へと拡大させました。
地域の企業から以下のような相談・支援依頼が増加した事を背景としています。

- ・リーダー層が育たない
- ・属人的な作業が多い
- ・コミュニケーション不足によるミス・トラブル
- ・作業標準・工程設計の弱さ

センターとして単なる研修提供ではなく、「現場での OJT 指導 × 課題解決型研修」の組み合わせにより、企業が自ら変わる力を引き出す伴走型支援型としました。

この結果明確になってきた事は、地域企業が抱える課題は「技術」だけではなく「人と組織」に起因するものが多いという事実です。

単に提供型の支援から、技術支援・人材育成・組織開発・自動化推進を一体で支えることで、企業が【“自ら考え、動き、変わる”力】を育てる支援へと進化させていきます。

引き続き、地域産業の持続的発展に向け、現場に寄り添う伴走支援を全力で展開します。

ものづくり支援担当：相吉 一浩 コーディネーター

2026 年 7 月に障害者法定雇用率が 2.7% に引き上げられます

2025 年 12 月現在、障害者雇用促進法 43 条第 1 項に基づいた民間企業の法定雇用率は 2.5% であり、従業員を 40 人以上雇用している事業主は、1 人以上障害者^{※①}を雇用しなければなりません。この法定雇用率は段階的に引き上げられ、2026 年 7 月には 2.7% となり、従業員 37.5 人以上雇用している事業者は 1 人以上の障害者を雇用しなければなりません。

障害者雇用促進法に基づいて、常用労働者 100 人超の企業が法定雇用率を超えて障害者を雇用^{※②}している場合は、法定雇用率を超えて雇用している障害者数に応じて 1 人月額 29,000 円の「障害者雇用調整金」が事業主の申請に基づき支給されます。

逆に、常用労働者 100 人超の企業が障害者の法定雇用率未達成の場合は、不足する障害者数に応じて 1 人につき月額 50,000 円の「障害者雇用納付金」を納付しなければなりません。

また法定雇用率が未達成の場合、ハローワークから雇入れ計画書の作成と提出が命じられ、2 年間の雇入れ計画が終了してから 9 ヶ月間のハローワークの指導を受けても雇用状況が改善しない場合には、厚生労働省のホームページなどに企業名が公表されることになります。^{※③}

現段階では常用労働者 100 人を超えない企業は「障害者雇用調整金」の支給、「障害者雇用納付金」の納付、及び、ハローワークからの指導も直接関係しません。

しかし、新たに障害者を雇用するといった視点ではなく、万が一、職場の熟練従業員が不慮の事故等で車椅子の生活をおくる状態となった場合、職場に車椅子で移動可能な導線が確保されているか、多目的トイレが設置されているかといった視点で、職場環境を見直してみてもいいでしょうか、企業の貴重な人財である熟練労働者が障害を負った際に職場を去る選択を迫られる事は B C P の側面からも好ましい状態ではありません。障害者に優しい職場環境は健常者も作業し易い職場環境と考えられます。

※① 障害者雇用義務化の対象となる障害者は身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所有者、ただし、障害者雇用に関する助成金については、手帳を持たない統合失調症、そううつ病（そう病、うつ病を含む）、てんかんの方も対象となり、またハローワークや地域障害者職業センターなどによる支援においては、「心身の障害があるために長期にわたり職業生活に相当の制限を受け、又は職業生活を営むことが著しく困難な方」が対象となります。

※② 常用労働者とは必ずしも、正規従業員の人数では無く、パートタイム、アルバイト従業員も常用労働者としてカウントされます

※③ 厚生労働省発表の資料によると、令和 5 年度に特別指導を経て企業名が公表した際の基準は

以下の2点

- ・令和6年1月1日時点で、実雇用率が令和4年の全国平均実雇用率（2.25％）未満の場合
- ・法定雇用率による必要な障害者雇用数が3～4人で、実際に雇用できているのが0人の場合

参考：厚生労働省HP

事業主の方へ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/jigyounushi/page10.html

以下厚労省該当ページ



障害者雇用促進法における障害者の範囲、雇用義務の対象

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001vnm9-att/2r9852000001vosj.pdf>

ものづくり支援担当：岡村 環 雇用環境整備士

3 アドバイザー・コーディネーターの紹介

専門性の高い6名(ものづくり支援担当4名、ICT支援担当2名)のアドバイザー・コーディネーターを配置し、地域の中小製造業の皆様へのきめ細やかな支援を実施しておりますので、ご活用ください。

ものづくり支援担当



杉本 守 アドバイザー

松本市工業ビジョンの見直しを受け、ビジネスマッチングなど経営力向上に向けた経営支援全般や各種補助金申請支援だけでなく、生産性向上や人手不足対応を狙いとしたDX技術の推進を支援いたします。

- ① マッチング支援など経営力向上に関わる支援全般
- ② 新技術開発、新商品開発、新事業開発支援
- ③ 国、県、市の各種支援制度の申請支援
- ④ DX (IoT によるものづくり工程の見える化、工程改善～専用機～ロボット導入による自動化) に関する支援



豊口 稔 コーディネーター

松本市工業ビジョン中間見直しの5つの重点推進事項を念頭に、企業の皆様と課題を共有して、商品開発から販路拡大まで支援を行います。また、関係機関と連携して新たな課題(人材、DX、GX)に対応、見える化支援 などに取り組んで参ります。

- ① 企業間の強みを結び付け、新価値創造を支援
- ② 食料品産業、伝統的産業などの商品開発・販路開拓支援
- ③ 各種展示会出展支援、新規市場開拓支援



広橋 修 コーディネーター

松本市工業ビジョンが示す「松本市の特性を生かした新たな活力の創造により高い競争優位性を持った地域」を目指し、5つの推進事項を推進するため、最もベースとなる「人材」と「現場力」、「製品力」の強化に向けた支援を行います。

- ① 製造拠点の現場力強化(QCD+PSME)支援
- ② 製品力強化(新技術・新製品開発、ビジネスマッチング)支援
- ③ 次世代を担う、ものづくり人材の育成支援



相吉 一浩 コーディネーター

現在、多くの企業が業態を変革し、生き残る道を探さなければならない時代、自分自身も常に新たなことにチャレンジし、地域企業の皆様と、世の中になく製造現場を目指し、その先にはそれぞれの企業のお客さまの期待を超える、新しい価値創出の実現に向けて、支援してまいります。

- ① IE技術を活用し、製造力強化(工場/工程設計、自動化/合理化/省人化等)支援
- ② 次世代ものづくり人材の育成
- ③ 企業連携による、新たな価値創出に向けた支援

ICT支援担当



野尻 和彦 コーディネーター

DX・デジタル化の推進を実現するため企業内業務の課題を把握し、ICTをうまく活用することによる改善策を検討・検証し課題解決できるようご支援していきます。

ICT[※]に関連する新しい名称・キーワード・製品情報など日々のニュースなどでも毎日のように報道されています。リスクリングのテーマはもとより、企業活動に必要な技術や能力を高めていき、最終的には企業変革につなげていく分野になります。



宮島 正孝 コーディネーター

- ① DX活動に向けてデジタル化診断等を活用した現状把握と課題の整理
- ② アナログからデジタル化促進、デジタル化されたデータ分析・活用の支援
- ③ 経営者向け、一般社員向け、小中高生向けなど、対象別にセミナー、研修会等を開催
- ④ サザンガクにおける企業活動の活性化及び起業、創業、事業発現支援
- ⑤ ホームページ開設、ウェブショップ開設、OAソフト活用などICT関連支援
- ⑥ ウェブやメールによる各種施策、研修会情報等の情報発信・情報提供など

※ DX(Digital Transformation) デジタル化により社会や生活の形・スタイルが変わること

※ GX(Green Transformation) 温室効果ガスを発生させる化石燃料から太陽光発電などのクリーンエネルギー中心へと転換し、経済社会システム全体を変革しようとする取り組み

※ ICT(情報通信技術): Information and Communication Technology

4 サザンガクからのお知らせ

サザンガクは、2019年11月にオープンした地域のICT支援拠点です。どなたでもご利用いただける自由なワークスペース「コワーキングスペース」、新規創業や地域進出の拠点となる「サテライトオフィス」、企業の人材不足と働き手をつなぐ場「テレワークオフィス」の3つの機能で、松本エリアのビジネス活性化をめざしています。

サテライトオフィス

デジタル技術分野をはじめとする創業や企業誘致の場として、全16区画をご用意しています。空き状況は、サザンガクまでお問い合わせください。

＜サテライトオフィス使用料 ※税・共益費込＞

- ・個人ブース：月額17,000円
- ・複数人区画：月額43,500円～（区画の規模により異なります）



テレワークオフィス

採用コスト、社員の流出、人手不足にお困りではありませんか？

事業者の皆さまのアウトソース先として、バックオフィス業務から、各社の固有業務まで幅広く対応いたします。

- ・登録ワーカー60名以上
- ・プライバシーマークを取得した万全のセキュリティ体制
- ・専任のディレクターが業務設計から構築・運用までのワンストップ提供
- ・課題やゴールに応じて、最適なBPO・アウトソーシングサービスをご提案



＜主な受注業務＞

- | | |
|----------------|---------------|
| ・バックオフィス業務 | ・校正 |
| ・Webサイト制作、更新作業 | ・資料作成 |
| ・広告、バナーデザイン | ・動画作成 |
| ・データ入力 | ・SNS運用 |
| ・データ加工 | ・ECサイト運用 |
| ・キャンペーン事務局 | ・CAD図面作成 etc. |

案件の大小、スポット・継続に関わらず様々な業務を請け負っております。まずはお気軽にご相談ください。

コワーキングスペース

コワーキングスペースでは、落ち着いたワークスペースや集中ブース、ミニ会議室、壁面のホワイトボード、リラクスペースなど、様々な働き方をする方それぞれにピッタリな空間を提供いたします。

時間単位でのご利用も可能ですので、ぜひお気軽にご利用ください！

＜コワーキング料金表（税込）＞

ドロップイン	
2 時間	500 円／学生 250 円
1 日	1,000 円／学生 500 円
定期会員	
一か月	10,000 円（税込）

＜コワーキング設備＞

- ・Wi-Fi
- ・プリンター複合機（別料金）
- ・モニター貸出
- ・ホワイトボード
- ・シェアキッチン etc.



＜サザンガクのセミナーにご参加ください！＞

サザンガクでは、働く方のスキルアップ、業務効率化につながる様々なセミナー、ワークショップを開催しています。無料で受講いただけますので、ぜひお気軽にご参加ください。最新の開催予定は、サザンガクのホームページ、SNSをご参照ください。また、企業への出前講座もお引き受けしますので、ご希望の場合はご相談ください。

＜過去の開催実績（抜粋）＞

- ・SNS 運用セミナー
- ・生成 AI 勉強会
- ・ビジネスに必要な仮説検証入門ワークショップ
- ・データ活用とマーケティングセミナー
- ・今求められる AI 活用人材とは？ etc.



お問い合わせ

〒390-0874 松本市大手3丁目3番9号 サザンガク
電話：0263-33-0339 メール：info@33gaku.jp

サザンガクイベントの開催実績

【Startup Weekend 松本】

- ・世界各地で開催されている起業体験プログラムを松本でも開催しました。
- ・参加者は、金曜日の夕方から日曜にかけて、「起業後最初の一年間」を疑似体験します。
- ・このイベントは、ボランティアの運営スタッフと地域内外の企業からの支援により開催しています。参加者のアントレプレナーシップ養成と共に、新しいことにチャレンジする人とそれを応援する人たちのコミュニティを形成することがねらいです。



【アトツギの学校】

- ・伝統と革新の間で次世代の経営をどう描くか悩みや不安を抱える「アトツギ（事業承継予定者及び現役後継者）」に向け、実践的な学びと出会いの場となるイベントを開催しました。
- ・地域内外の多様な実践者をゲストに迎え、自社に取り入れられるヒントや考え方を得るとともに、同じ悩みを持つ仲間とつながることで、新たな一歩を踏み出すきっかけを創出します。



5 松本市からのお知らせ

ものづくり事業者の皆さんへ様々な助成、補助制度を用意しています。詳細については、商工課工業振興担当までお気軽にお問い合わせください。

中小 地域中核

製造業等活性化支援事業助成金

大学等研究機関との共同研究や新分野への進出等企業の新たなチャレンジを支援します。



- ◇産学共同研究事業・新産業創出事業の場合
助成率 1/2 限度額 100 万円 1 事業 3 回まで
- ◇地域中核企業※が上記事業を行う場合
助成率 2/3 限度額 300 万円 1 事業 3 回まで

中小 地域中核

製造業等販路拡大支援事業補助金

展示会の出展や海外向け EC サイトの開設に際し、その費用の一部を補助します



- ◇国内向け
補助率 10/10 限度額 25 万円
- ◇海外向け
補助率 10/10 限度額 50 万円
地域中核企業※の場合は限度額 100 万円

中小

製造業等人材育成事業補助金

人材のスキルアップに係る研修費用の一部を補助します。



- 補助率 1/2 限度額 2.5 万円（人材 1 名につき）
1 事業者合計 10 万円まで

R6～
対象となる
研修を拡充！

地域中核

地域中核企業支援事業補助金

地域中核企業※が事務所・工場等々を新・増設する場合、その費用の一部を補助します。

- ◇施設等整備事業
補助率 1/10 限度額 500 万円
- ◇施設等設置事業
3 年間分の固定資産税相当額 限度額なし
（施設等整備事業を活用し取得したものに限り）

ヘルスケアサービス等実用化 検証事業助成金

ヘルスケアサービスに係る実用化検証を行う場合、その費用の一部を補助します。



- 助成率 3/4 限度額 100 万円 1 事業 3 回まで

中小

空き工場等活用事業補助金

市内の空き工場を活用し、製造や新製品開発等を行う場合、賃借料の一部を補助します。



- 補助率 1/2 限度額 96 万円（8 万円 / 月 × 12 か月）

※地域中核企業…地域未来牽引企業、県から地域経済牽引事業計画の承認を受けた企業等

中小

外部人材活用促進事業補助金

経営改革※¹のために外部人材※²の雇用等を行う場合その費用の一部を補助します。



- ※¹ 新製品・新技術の開発、新分野への進出、デジタル化・脱炭素化の推進等により、企業の成長促進を図ること
- ※² 市外に住所を有し、事業開始前に、補助を受ける事業者による雇用等が行われていない者

- ◇外部人材に係る給与等
補助率 1/2 限度額 90 万円（15 万円 / 月 × 6 か月）
- ◇外部人材に係る滞在費
補助率 1/2 限度額 10 万円
※合計 100 万円まで

「地域の人事部」
または、「信州100年企業
創出プログラム」への
参加が必要です！

脱炭素型大規模投資支援事業補助金

ゼロカーボン産業に取り組むために必要な建物の新設・増設・移設、償却資産の取得をするための大規模投資（3 億円以上）を行う場合、その費用の一部を補助します。



- 補助率 対象経費の 3% 限度額 3,000 万円

テレワークオフィス設置支援 事業補助金

松本市に新たに進出し、サテライトオフィスを設置する際、その費用の一部を補助します。



- ◇賃借料補助
①補助率 1/2 限度額 120 万円（10 万円 / 月 × 12 か月）
- ◇施設整備費補助
②改修費等 補助率 1/2 限度額 200 万円
③備品購入費 補助率 1/2 限度額 20 万円
※①～③合計 200 万円まで

企業事務所誘致事業補助金

上場企業等が市内に新たに事務所を設置する場合、その費用の一部を補助します。



- ◇取得の場合
3 年間分の固定資産税相当額 限度額 1,000 万円
（中心市街地の場合、5 年分 4 年目以降 600 万円）
- ◇賃貸の場合
補助率 賃借料の 1/2 限度額 800 万円 3 年間
（中心市街地の場合、5 年分 4 年目以降 400 万円）

お問い合わせ：

松本市役所商工課 工業振興担当 /
健康産業推進担当

TEL:34-3270 FAX:34-3008 /

TEL:34-3296 FAX:34-3297

〒390-8620 松本市丸の内 3-7

MAIL:shoukou@city.matsumoto.lg.jp /

kenkou-sangyou@city.matsumoto.lg.jp

6 松本商工会議所からのお知らせ

国の補助金お知らせ

松本商工会議所では国等の補助金の申請に向けた支援を行っております。詳細については、中小企業振興部経営支援グループまでお問い合わせください。

小規模事業者向

小規模事業者持続化補助金

自社の経営を見直し、自らが持続的な経営に向けた経営計画を作成した上で行う販路開拓や生産性向上の取組を支援する制度で、広告宣伝、EC サイト構築、店舗改装、業務効率化のための設備導入などが補助対象となります。

◇一般型 補助率 2/3 限度額 50 万円
(賃上げ要件を満たす場合、150 万円上乘せ)
インボイス特例の要件を満たす場合、50 万円上乘せ



中小・小規模事業者向

ものづくり・商業・

サービス生産性向上促進補助金

革新的な製品・サービス開発や試作品開発、生産プロセス改善等に取り組み、企業の生産性向上と持続的成長のための設備投資等を支援する制度です。

補助率：中小 1/2 小規模事業 2/3
限度額：製品・サービス高付加価値化枠 限度額 750万円～2,500万円
グローバル枠 限度額 3,000万円
(大幅に賃上げに取組む方、補助上限額を 100万円～1,000万円上乘せ)
(最低賃金の引き上げに取り組む方、補助率を 2/3 に引き上げます)



企業経営者・人事のみなさま

人事の大問題 確保 育成 定着

あなたの会社経営を地域でサポート!

企業の人材課題を地域で解決

「地域の人事部」とは、地域の企業群が一体となって地域の自治体・金融機関・教育機関等の関係機関と連携し、将来の経営戦略実現を担う人材の確保（兼業・副業含む）や域内でのキャリアステップの構築等を行う総合的な取組です。



構成機関：松本市産業振興部商工課・松本ものづくり産業支援センター・八十二銀行・長野銀行・長野県信用組合・松本信用金庫・信州大学・松本大学・MEGURU・KOKO・松本市内企業・専門家 等

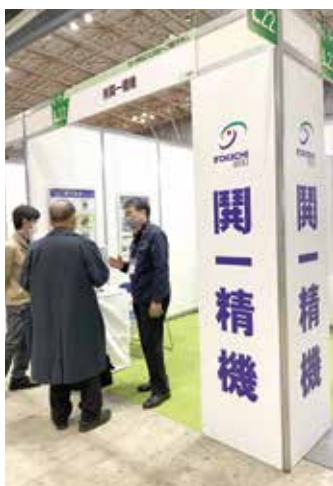
お問い合わせ：松本商工会議所中小企業振興部 経営支援グループ／ものづくり・人材グループ
TEL：32-5350 FAX：32-1482 Mail：soudan@mcci.or.jp monodukuri@mcci.or.jp

7 松本ものづくり産業支援センターからのお知らせ

松本ものづくり産業支援センター「中小企業総合展事業」終了のお知らせ

首都圏での販路拡大を目的として、中小企業総合展（会場：東京ビッグサイト）の会場に当センターで4小間を確保して、松本商工会議所ものづくり工業部会会員、松本機械金属工業界会員事業所を出展対象企業として、参加企業を募集し販路拡大のサポートを行って来ました「中小企業総合展事業」は中小企業総合展が新価値創造展、FOODEX等の複数展示会に形を変える中、2011年からテクニカルショウヨコハマへと会場を移し、継続してきましたが、諸般の事情で本年度の「テクニカルショウヨコハマ2026」（2026年2月開催）への出展をもって終了となります。

二十余年間、中小企業総合展事業にご賛同いただきました松本市、松本商工会議所、松本機械金属工業会、並びにご参加くださいました企業の皆様に厚く御礼申し上げます。



関係機関（市外局番 0263）

松本市 産業振興部 商工課 工業振興担当／健康産業推進担当

TEL34-3270 FAX34-3008

TEL34-3296 FAX34-3297

松本市 産業振興部 農政課

TEL34-3221 FAX36-6217

松本商工会議所 中小企業振興部ものづくり支援グループ

TEL32-5350 FAX32-1482

信州大学 研究推進部 産学官地域連携課

TEL37-2087 FAX37-3049

（公財）長野県産業振興機構 松本センター

TEL40-1780 FAX47-3380（長野県松本合同庁舎内）
